



## 2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月19日

上場会社名 日本社宅サービス株式会社  
 コード番号 8945 URL <https://www.svataku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 章  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務グループ長 (氏名) 吉田 勇  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月20日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5229-8700

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	6,353	2.7	576	△1.2	584	△1.7	355	△7.1
2019年6月期第3四半期	6,183	7.5	583	17.9	594	12.4	383	14.7

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 △143百万円 (△114.1%) 2019年6月期第3四半期 1,018百万円 (39.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2020年6月期第3四半期	36.83	35.00
2019年6月期第3四半期	40.23	38.23

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	11,161	6,290	55.1
2019年6月期	9,534	6,582	67.8

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 6,155百万円 2019年6月期 6,463百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2019年6月期	—	9.00	—	13.00	22.00
2020年6月期	—	13.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	9,480	12.3	1,055	10.5	1,101	9.8	715	3.7	74.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年6月期3Q	10,854,600 株	2019年6月期	10,736,700 株
2020年6月期3Q	1,146,588 株	2019年6月期	1,146,531 株
2020年6月期3Q	9,663,473 株	2019年6月期3Q	9,524,310 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移してきたものの、消費税増税による個人消費の落ち込みや米中の貿易摩擦など海外の不安定な情勢に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で国内外における経済活動への影響が懸念される等、景気の先行きは厳しい状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、社宅管理事務代行事業においては、各企業が福利厚生制度の充実を重要視する傾向は変わらず、加えて働き方改革等による残業抑制や生産性向上取り組み等と相まって、更なる外部委託ニーズにつながっており、アウトソーシングへの関心は高い状態を維持しております。一方、施設総合管理事業においては、マンション管理における修繕積立金不足等の問題から管理組合による管理費見直しに伴う受注競争は依然として厳しく、人件費や輸送コストの上昇による建築コストの高騰、技能労働者の需給状況等についても引き続き注視すべき状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、5ヵ年中期経営計画の最終年度を遂行中であり、引き続き、ストックビジネスをベースにした継続的かつ安定的な成長、お客様にとって価値が更に拡がるような付加価値の高いサービスの創造、機能分化による意思決定と人材育成の早期化の3つの基本戦略を通じて、中長期的な企業価値の向上に注力しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は63億53百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は5億76百万円（同1.2%減）、経常利益は5億84百万円（同1.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億55百万円（同7.1%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①社宅管理事務代行事業

社宅管理事務代行事業においては、社宅アウトソーシングサービスの新規稼働により受託収入が順調に増加するとともに、オペレーション人員の増強を進めたことから、売上高は29億25百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は5億1百万円（同2.8%増）となりました。

## ②施設総合管理事業

施設総合管理事業においては、ストックであるマンション管理組合や建物オーナーからの新規受託物件は堅調に増加したものの、不動産の買取再販サービスにおける販売の時期ずれや管理体制強化のコスト増加や業務効率化のための拠点移転による一時経費の発生等から、売上高は30億42百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は39百万円（同20.4%減）となりました。

## ③その他事業

売上面では、コスト削減サービスや24時間対応のコールセンターサービスなど複数のサービスが拡大した結果、売上高は3億85百万円（前年同期比10.1%増）となりました。利益面では、増収効果による利益の増加がある一方で、保険サービスにおいては住まいの適正な維持・保全を支援するサービスの構築を進めており、業績への寄与に期間を要することから、営業利益は32百万円（同26.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16億26百万円増加し、111億61百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ22億50百万円増加し、77億24百万円となりました。これは主に営業立替金の増加32億39百万円、現金及び預金の減少10億48百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億23百万円減少し、34億36百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価に伴う投資有価証券の減少7億7百万円によるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ19億19百万円増加し、48億71百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ21億67百万円増加し、41億72百万円となりました。これは主に短期借入金の増加22億0百万円、営業預り金の減少1億12百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億47百万円減少し、6億99百万円となりました。これは主にその他に含まれる長期繰延税金負債の減少2億52百万円によるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億92百万円減少し、62億90百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少4億99百万円、利益剰余金の増加1億0百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組むとともに、「皆様の住まいと暮らしを支える」事業を遂行していく企業グループであるとの認識のもと、従業員の安全を考慮した勤務形態（時差出勤、在宅勤務等）を進めながら、可能な限り、通常と変わらないサービス提供を行えるよう対応に努めております。

2020年6月期の通期連結業績については、社宅管理事務代行事業における新型コロナウイルス感染症による影響は限定的であるものの、施設総合管理事業において、管理サービスにおける外出自粛による修繕工事の遅れや、不動産サービスにおける部材調達遅れ、金融機関からの融資停滞による販売時期のずれなどの発生がみられ、当社グループの業績にも影響を与えることが予想されますが、今後の感染拡大あるいは収束に向けた見通しが不透明な中、現時点ではその影響を合理的に見積もることが困難なため、2019年8月9日に公表いたしました業績予想を据え置き、予測可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,216,782	2,168,678
売掛金	338,153	370,409
営業立替金	1,387,151	4,626,370
商品	1,131	1,087
販売用不動産	216,269	226,398
仕掛品	12,823	24,203
原材料及び貯蔵品	10,627	13,118
その他	294,695	300,854
貸倒引当金	△3,154	△6,153
流動資産合計	5,474,478	7,724,967
固定資産		
有形固定資産	649,880	677,469
無形固定資産		
のれん	272,228	249,593
その他	124,683	199,745
無形固定資産合計	396,911	449,339
投資その他の資産		
投資有価証券	2,756,801	2,048,951
その他	256,663	260,786
投資その他の資産合計	3,013,464	2,309,737
固定資産合計	4,060,256	3,436,546
資産合計	9,534,735	11,161,513
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	169,393	157,205
短期借入金	—	2,200,000
未払法人税等	154,495	134,777
営業預り金	665,536	553,324
賞与引当金	34,707	128,348
役員賞与引当金	34,594	32,815
その他	946,235	965,545
流動負債合計	2,004,963	4,172,017
固定負債		
退職給付に係る負債	168,516	175,476
その他	778,520	523,998
固定負債合計	947,036	699,474
負債合計	2,951,999	4,871,491
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	783,098	828,436
資本剰余金	974,248	1,019,586
利益剰余金	3,399,828	3,500,451
自己株式	△459,523	△459,582
株主資本合計	4,697,651	4,888,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,765,912	1,266,411
その他の包括利益累計額合計	1,765,912	1,266,411
新株予約権	119,172	134,718
純資産合計	6,582,736	6,290,021
負債純資産合計	9,534,735	11,161,513

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,183,673	6,353,252
売上原価	4,768,274	4,904,906
売上総利益	1,415,399	1,448,346
販売費及び一般管理費	832,228	872,235
営業利益	583,171	576,110
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,407	1,480
保険解約返戻金	1,532	—
受取手数料	674	1,410
補助金収入	7,524	4,233
その他	2,279	2,692
営業外収益合計	13,418	9,817
営業外費用		
支払利息	13	189
訴訟和解金	1,886	—
開業費償却	105	407
その他	375	1,168
営業外費用合計	2,379	1,765
経常利益	594,209	584,161
特別利益		
固定資産売却益	37	—
新株予約権戻入益	6,321	804
特別利益合計	6,358	804
特別損失		
固定資産売却損	—	569
固定資産除却損	485	1,885
特別損失合計	485	2,455
税金等調整前四半期純利益	600,081	582,511
法人税等	216,850	226,523
四半期純利益	383,231	355,987
親会社株主に帰属する四半期純利益	383,231	355,987

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	383,231	355,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	635,059	△499,501
その他の包括利益合計	635,059	△499,501
四半期包括利益	1,018,291	△143,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,018,291	△143,513
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	社宅管理 事務代行 事業	施設総合 管理事業	その他 事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,816,979	3,016,266	350,427	6,183,673	—	6,183,673
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	8,622	54,566	63,189	(63,189)	—
計	2,816,979	3,024,889	404,994	6,246,863	(63,189)	6,183,673
セグメント利益	487,693	49,377	43,816	580,886	2,284	583,171

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	社宅管理 事務代行 事業	施設総合 管理事業	その他 事業	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,925,229	3,042,361	385,661	6,353,252	—	6,353,252
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	6,526	52,515	59,042	(59,042)	—
計	2,925,229	3,048,888	438,176	6,412,295	(59,042)	6,353,252
セグメント利益	501,238	39,295	32,227	572,761	3,348	576,110

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、サンネクスターリング株式会社を連結範囲に含めたことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来、報告セグメントに含まれない「その他」の各事業セグメントについて、「その他事業」への集約を行うとともに、金額的重要性を勘案して報告セグメントに追加いたしました。この結果、当社グループの報告セグメントは、「社宅管理事務代行事業」及び「施設総合管理事業」の2区分から、「社宅管理事務代行事業」、「施設総合管理事業」及び「その他事業」の3区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。